



起業の野心 満ちた街



IoTモノのインターネット)の最新商品展示するコーナーを視察する参加者(サンフランシスコ)

好況が続くサンフランシスコのビジネス街、クラウドサービス大手のセールスフォース本社左の丸みを帯びた高層ビルが目立つ。



常識外れの革新手助け

高速道を走る車窓からはカリフォルニア湾を望む小高い丘が何層にも重なって見えた。そのどれもが小ぶりな住宅に埋め尽くされている。

「米国の住宅サイズとしては相当小さい。それでも価格は平均1億円。20年以上も現地に住む女性方イデオの説明に驚かさ

れた。高額な報酬を得るシリコンバレーのエンジニアのベッドタウンとして、サンフランシスコ市内の地価は高騰し続けている。

好況の原動力はベンチャービジネスだ。2009年の創業から10年足らずで時価総額8兆円となった配車サービス大手のUberをはじめ、爆発的な成長を遂げる企業も少なくない。

クラウドサービスのエンジニア日本法人元会長の外村仁さんによると、技術革新によりかつては不可能だったことが次々と可能になってい

解決したいという情熱が柱になると指摘する。「その熱意を、誰かが手助けをしようとする。これがシリコンバレーの強さだと力を込める。

「仕事に最高の環境」

遊び心あふれる仕掛け

遊べる仕掛け

遊び心あふれる仕掛け

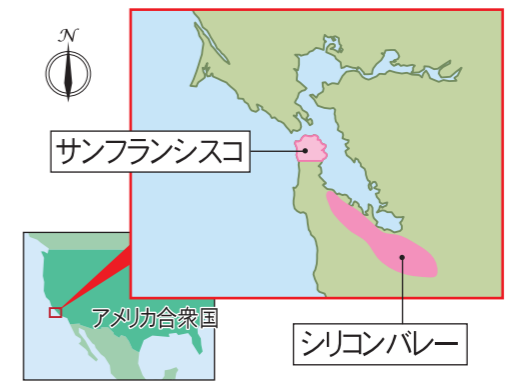
遊べる仕掛け

サンフランシスコ市中心街にある人気の居酒屋「銀兎GINTO」では、田園プラザ川場(川場村)が製造する地ビール「川場ビール」が人気となっている。

「常連さんの中には『カワバ』好きが結構いますよ。同郷の川場ビールが人気という店によると、米産の地ビールも20種類以上そろえるが、川場ビールは人気商品のひとつという。

女性店員は「川場ビールはフルーティーな香りが好まれている。日系企業の関係者が接待で使うことも多いみたい」と話していた。

群馬イノベーションアワード(GIA)2017関係者34人は4月26、27の両日、ベンチャービジネスの中心である米サンフランシスコ市と、IT関連産業が集積する近くのシリコンバレーを視察に訪れた。ビジネスチャンスやパートナーとなる人脈を求め、才能豊かな人材が世界中から流れ込む地域。そこは常識を疑い、失敗を恐れずに挑戦する野心的な環境に満ちていた。(上毛新聞 石倉雅人)



San Francisco

シリコンバレー

米国研修で講師を務めた専門家らは、「ベンチャービジネスの根幹は暮らしを豊かに変えること」と異口同音に指摘した。正解のない問題を自分なりに解決し、見過ごして現状の課題を発見することこそ未来を切り開くという発想は、日本が学ぶべき示唆に富む。

Wisil共同創業者CEOの伊佐山元さんは起業家を育成している経験から「創業期は焦って大多数の支持を得る必要はない。少数でも満足度を満たすことが重要」と話した。

専門家5人が講義



高橋明希さん 外村仁さん



金松孝司さん 三浦茜さん

「高いことが大切」と指摘。また、企業勤務で技術や経験を積んだ中高年の起業家が多いとして「挑戦に遅すぎることではない」と強調した。

「日本の教育は課題解答に主眼を置くが、技術革新に必要なのは課題を掘り起こす力が求

もに変化する社会に「正解」はあるのだろうか。クラウドサービスのエバーノート日本法人元会長の外村仁さんは疑問を投げかける。「解のない問題を解決する力。見過ごされた問題を掘り起こす力が求め

められている」とした。都内の自動車教習所社長を務めながら、シリコンバレーで経営コンサルト会社を起業した高橋明希さんは「新しい事業展開を構想することが大切」と述べた。

ベンチャーキャピタルでマーケティングを担当する三浦茜さんは「顧客の好みを分析するサービスの拡充により、暮らの中で『決める』という負担がなくなっている」と分析した。



奥谷さん 患者助ける飲食店情報 大塚さん、原沢さん ランドリーとカラオケ

シリコンバレー研修では、GIA2017で賞に輝いた中央中等教育学校6年の奥谷哲郎さん(17)ら10代の3人が、起業家育成のプロを前に自らのビジネスプランを英語でプレゼンテーションした。投資家目線の鋭い指摘や質問にも動じることなく応じ、事業化への好感触を得た。

日本の大手企業と連携して現地に起業家育成を進めるWisilの共同創業者CEO、伊佐山元さんと同社ジェネラルパートナーのロブ・シアラスさんが発表に耳を傾けた。

奥谷さんは、食物アレルギー患者が自由に外食するための飲食店情報の共有サイト「FRIBEAT」を発表。ロブさんは「事業化の大きな可能性を秘めている」と高く評価し、「飲食店を巻き込んで店舗情報を盛り込むべきだな」と助言した。

発表後、奥谷さんは「指摘されたのは自分でも検討した内容。やはりその視点が大切かつ気づき、参考になった」と振り返った。

また、利根実業高校の在学中にビジネスプラン部門高校生の部で受賞した大塚菜々美さん(18)と東日本栄養薬専門学校(18)と原沢藍子さん(18)と農林大学校も発表。

コンラドホテルとカラオケを組み合わせた新業態「カラオケドリ」の提案に対し、伊佐山さんとロブさんは「ほかの組み合わせはできないか」「働く女性だけでなく、大学生にも受け入れられそうだ」などと指摘した。



GPA最高賞 半沢さん参加

「刺激的な経験 将来に生かす」

WバーやWisilを視察し、現地の女性起業家の高橋明希さんらの講話を興味深そうに聴き入った。「自分が何をやりたいか」を明確に持っている志の強さと、それを実践する行動力」をまぶしく感じたという。

海外渡航は今回が初めて。さまざまな人種が力を合わせて働くシリコンバレー、多様な文化が共存するサンフランシスコの街並みに圧倒されたが、この刺激的な経験を将来に生かしたい」と笑顔で話した。

GIA米国視察団 肩書・敬称略

△GIA2017受賞者 奥谷哲郎(中央中等教育学校)三田英彦(三田三昭堂)萩原涼平(NPO法人ソニック)星野智昭(コピーライター)工藤龍広(共愛学園前橋国際大)大塚菜々美(東日本栄養薬専門学校)原沢藍子(県立農林大学校)△GIA協賛社 腰高博(コシダカホールディングス)山口幸治(石井設計)大森昭生(共愛学園前橋国際大)串田洋介(クシダ工業)金井修、皆川義孝(以上クライム)渡辺辰吾(ソウ・ディライト)中島慎太郎(中央カレッジグルー

▽中村敬太郎(前橋園芸)田中泰亨(ル・ソレイユ)佐藤拓(高崎佐藤眼科)小井土匡彦(こもれび)高橋礼人(ボナ)▷その他 小池正律(中央キャリアネット)新井和彦(Memento-MoriCO)須永光(三見メンテクス)村井誠志(前橋商工会議所)馬場早苗(グラフィックデザイナー)村瀬隆明(ナニラニ)▷GPA・MVP 半沢七海(中央工科デザイン専門学校)▷ジンズ 田中仁、穴沢武司、新井仁、木村亮介▷上毛新聞社 吉田典之、星野幸央、石倉雅人